

覚醒者としてよりはむしろ、文化との共催催眠術師として機能する。そういうわけで、われわれの多くは単独で行動し、他の人々の影響の危険を避けたいという気になるが、それは不可能である。われわれはすでに、文化的催眠術師および他の多くのグループの影響を組み込まれてきているからである。心理的に、われわれは多くの「カルト」に属しているのである。新しいグループとワークすることは危険性を伴うが、しかしまたグループがすでにわれわれに及ぼしてきた否定的影響を無効にしうるような仕方でも、われわれがグループの影響に目覚める機会を与えてくれる。忘れてならないことは、発達グループとワークしないことは安全であることを意味するわけではないということである。

あなたの発見の旅の安全を祈る！

Crabtree, A. *Multiole Man*. New York: Praeger, 1985.

Gyasto, T. (the Dalai Lama). *Kindness, Clarity, and Insight*. Ithaca, N.Y.: Snow Lion Publications, 1984.

Hilgard, E. *Divided Consciousness: Multiple Controls in Human Thought and Action*. New York: Wiley Interscience, 1977.

_____. "The Problem of Divided Consciousness: A Neodissociation Interpretation." *Annals of the New York Academy of Sciences* 296 (1977): 48-59.

Keyes, D. *The Minds of Billy Milligan*. New York: Random House, 1981.

LaBerge, S. *Lucid Dreaming: The Power of Being Awake and Aware in Your Dreams*. Los Angeles: Jeremy Tarcher, 1985.

Ouspensky, P. D. *In Search of the Miraculous: Fragment of an Unknown Teaching*. New York: Harcourt, Brace & World, 1949.

Shah, I. *The Sufis*. New York: Doubleday, 1964.

_____. *Tales of the Dervishes*. London: Jonathan Cape, 1967.

Shor, R. "Hypnosis and the Concept of the Generalized Reality Orientation." *American Journal of Psychotherapy* 13 (1959): 582-602.

_____. "Three Dimensions of Hypnotic Depth." *International Journal of Clinical and Experimental Hypnosis* 10 (1962): 23-38.

- Spender, S. *Selected Poems of Stephen Spender*. New York: Random House, 1964.
- Stanford, R. "An Experimentally Testable Model for Spontaneous Psi Events. I. Extrasensory Events." *Journal of the American Society for Psychical Research* 68 (1974): 34-57.
- _____. "An Experimentally Testable Model for Spontaneous Psi Events. II. Psychokinetic Events." *Journal of the Society for Psychical Research* 68 (1974): 321-356.
- Tart, C. "A Possible 'Psychic' Dream, with Some Speculations on the Nature of Such Dreams." *Journal of the Society for Psychical Research* 42 (1963): 283-298.
- _____. "The Hypnotic Dream: Methodological Problems and a Review of the Literature." *Psychological Bulletin* 63 (1965): 87-99.
- _____. (ed.). *Altered States of Consciousness: A Book of Readings*. New York: Doubleday, 1971. (First published in 1969.)
- _____. *On Being Stoned: A Psychological Study of Marijuana Intoxication*. Palo Alto, Calif.: Science & Behavior Books, 1971.
- _____. "States of Consciousness and State-Specific Sciences." *Science* 176 (1972): 1203-1210.
- _____. *States of Consciousness*. El Cerrito, Calif.: Psychological Processes, 1983. (Originally published in 1975.)
- _____. *Transpersonal Psychologies*. El Cerrito, Calif.: Psychological Processes, 1983. (Originally published in 1975.)
- _____. *Psi: Scientific Studies of the Psychic Realm*. New York: Dutton, 1977.
- _____. "An Emergent-Interactionist Understanding of Human Consciousness." In B. Shapin & L. Coly (eds.), *Brain/Mind and Parapsychology*. New York: Parapsychology Foundation, 1979, pp. 177-200.

- _____. "Lucid Dreams: Entering the Inner World." Part 1. *The Open Mind* 1, no. 1 (1983): 1-4.
- _____. "Lucid Dreams: Entering the Inner World." Part 2. *The Open Mind* 1, no. 2 (1983): 1-5.
- _____. "Lucid Dreams: Entering the Inner World." Part 3. *The Open Mind* 1, no. 4 (1983): 4-6.
- _____, and J. Fadiman. "The Case of the Yellow Wheat Field: A Dream-State Explanation of a Broadcast Telepathic Dream." *Psychoanalytic Review* 61 (1974): 607-618.
- Wolman, B., L. Dale, G. Sebmeidler, and M. Ullman. *Handbook of Parapsychology*. New York: Van Nostrand Reinhold, 1977.

邦訳参考文献

■チャールズ・タートの著作

- ◎「サイ・パワー——意識科学の最前線」 井村宏次＋岡田圭吾訳 工作舎 一九八二年
- ◎「意識の諸状態と状態特定科学」(「トランスパーソナル宣言」 ロジャー・N・ウォルシュ他編／吉福伸逸訳・編 春秋社 一九八六年 所収)

■グルジェフ関連著作

- ◎「奇蹟を求めて——グルジェフの神秘宇宙論」 P・D・ウスペンスキー著／浅井雅志訳 平河出版社 一九八一年
- ◎「グルジェフ・ワーク——生涯と思想」 キャサリン・リョルダン・スピース著／武邑光裕訳 平河出版社 一九八二年
- ◎「グルジェフと共に」 トマス&オルガ・ド・ハートマン著／前田樹子訳 メルクマール社 一九八五年
- ◎「魁偉の残像——グルジェフと暮らした幼年時代」 フリッツ・ピーターズ著／前田樹子訳 めるくまーる社 一九八七年
- ◎「覚醒への戦い」 コリン・ウィルソン著／鈴木健三十君島邦守訳 紀伊国屋書店 一九八七年

- ◎ 「人間に可能な進化の心理学」 P・D・ウスペンスキー著／前田樹子訳 めるくまーる社
一九九一年
- ◎ 「エニアグラム進化論——グルジエフを超えて」 P・D・ウスペンスキー著／前田樹子訳 春秋
社 一九九四年
- ◎ 「二十世紀の神秘家 ウスペンスキー」 コリン・ウィルソン著／中村正明訳 河出書房新社
一九九五年
- ◎ 「グルジエフとクリシュナムルティ——エソテリック心理学入門」 ハリー・ベンジャミン著／
大野純一訳 コスモス・ライブラリー 一九九八年
- ◎ 「ターシャム・オルガヌム（第三の思考規範）——世界の謎への鍵」 P・D・ウスペンスキー著
／高橋弘泰訳 コスモス・ライブラリー 二〇〇〇年
- グルジエフ自身の著作
- ◎ 「注目すべき人々との出会い」 星川淳訳 めるくまーる社 一九八一年
- ◎ 「グルジエフ弟子たちに語る」 前田樹子訳 めるくまーる社 一九八五年
- ◎ 「ベルゼバブの孫への話」 浅井雅志訳 平河出版社 一九九〇年
- ◎ 「生は〈私が存在し〉てはじめて真実となる」 浅井雅志訳 平河出版社 一九九三年

■著者——チャールズ・T・タート (Charls T. Tart)

1937年米回生まれ。1966年以来カリフォルニア大学ディヴィス校で心理学を教えている。早くから若手心理学者のホープとして注目され、精力的にサイ(超能力)の実験的研究に取り組む。サイ解明の突破口は意識の研究にあると直観し、「変性意識」を科学的手法で研究し、テレパシー、夢、予知、遠隔視、肉体離脱などの現象の解明に着手。1969年に「変性意識状態 *Altered States of Consciousness*」を出版して一躍有名になり、その後「トランスパーソナル心理学 *Transpersonal Psychologies*」「意識の諸状態 *States of Consciousness*」などを著す。邦訳に、「サイ・パワー——意識科学の最前線」(工作舎)。

■訳者——吉田豊 (よしだ・ゆたか)

新潟県十日町生まれ。慶応大学文学部哲学科・教育学科卒。現在、日本トランスパーソナル学会理事。意識研究会主宰。現在進行中の「意識の集合的変容」に強い関心を抱いている。訳書に、グロフ「深層からの回帰」(晋土社)、グロフ&グロフ「魂の危機を越えて」、ヘンドリックス「ハートフル・サクセス」、ウィルバー「科学と宗教の統合」(以上、春秋社)他。

■監訳者——大野純一 (おのの・じゅんいち)

1944年、東京浅草生まれ。一橋大学卒。翻訳家。訳書に、クリシュナムルティ「生と覚醒のコメンタリー」1~4、「英知の教育」「未来の生」「生の全変容」「瞑想と自然」「自由とは何か」、ケン・ウィルバー「万物の歴史」(以上、春秋社)、「クリシュナムルティの瞑想録」「生の全体性」「楽園の蛇」(平河出版社)、「気づきの探究」(めぐるまる社)他。

■「覚醒のメカニズム——グルジェフの教えの心理学的解明」

Waking Up—Overcoming the Obstacles to Human Potential

©2001 訳者 吉田 豊
監訳者 大野純一

2001年1月11日 初版第1刷発行

発行所 コスモス・ライブラリー
発行者 大野 純一
〒113-0033 東京都文京区本郷3-23-5
ハイシティ本郷204
電話 03-3813-8726 Fax. 03-5684-8705
郵便振替 00110-1-112214
装丁 清水良洋
装画 佐の佳子
発売所 星雲社
〒112-0012 東京都文京区大塚3-21-10
電話 03-3947-1021 Fax. 03-3947-1617

印刷/製本 (株)シナノ

ISBN4-434-00819-6 C0011

定価はカバー等に表示してあります。

「コスモス・ライブラリー」刊行物

千葉大学助教授 カウンセラ― 諸富祥彦著

『フランクフル心理学入門』——どんな時も人生には意味がある』

「夜と霧」「それでも人生にイエスと言う」の著者として世界的に有名なフランクフルの心理学のエッセンスを、初めて体系的に、かつわかりやすく説いた画期的入門書。

「心のむなしさ」にどう対処し、「生きる意味」をどのように発見したらいいか、「中年期」の危機をどう乗り越え、「老い」に対する態度をどう変えたらいいかといった、一般の方々の自己発見や癒しのためのセルフ・ヘルプに供するだけでなく、学校現場や企業で、また専門家にも役立つよう、人物・自己発見箇の他に原理・臨床・資料篇を加えた。

2520円

千葉大学助教授 カウンセラ― 諸富祥彦著

『カール・ロジャーズ入門』——自分が『自分』になるということ』

「カウンセリングの神様」カール・ロジャーズ。

自分が「自分」になるとは、私が「これが私だ」と実感できる「私」になるとは、どのようなことか。「抑圧家族」で育てられたアドルト・チルドレン、ロジャーズの人生そのものが、自分が自分自身になるというカウンセリングの本質的テーマをめぐって展開されていた。「人間・ロジャーズ」に焦点を当て、その生涯と思想形成の歩みを解明すると共に、そこから生み出された理論と実践のエッセンスを分かりやすく説いた格好の入門書。

2520円

アン・ワイザー・コーネル著／大澤美枝子・日笠摩子共訳／諸富祥彦解説

『やさしいフォークシング』——自分でできるこころの処方』

フォークシングは、われわれのからだの智慧に触れ、われわれの生活に前向きな変化を生み出すための、やさしくてしかも力強い技法である。本書は、そのフォークシングによる自己探索と自己発見の生きた技法を学ぶために、説者が自分で練習できるように工夫された、待望の書。

1890円

デイヴ・メアーンズ著／岡村達也＋林幸子＋上嶋洋一＋山科聖加留訳／諸富祥彦監訳・解説

『パーソンセンタード・カウンセリングの実際——ロジャーズのアプローチの新たな展開』

カール・ロジャーズが創始したパーソンセンタード・カウンセリング。欧米におけるその最新の発展の成果と磨き抜かれた臨床実践の実際をわかりやすくまとめたもの。(主な内容)治療条件を拡げる／カウンセラーの成長／治療同盟／治療過程／パーソンセンタード精神病理学／イギリスにおけるロジャーズ派カウンセリングに学ぶ(諸富)

1785円

ジーン・ネルセン他著／会沢信彦訳／諸富祥彦解説

『クラス会議で子供が変わる——アドラー心理学でポジティブ学級づくり』

アドラー心理学の理論と方法に基づいた「育てるカウンセリング」の発想に立つ学級経営の実際を具体的に紹介。子どもたちを尊敬し、信頼し、勇気づけ、学級崩壊を防ぐための具体的なアイデアやノウハウが満載！。

1890円

ヒューマン・ギルド代表 岩井俊彦著

『アドラー心理学によるカウンセリング・マインドの育て方——人はだれに心をひらくのか』

現在偉大なブームとなっているアドラー心理学をベースに、カウンセリングの専門家でない人も、すでに学んでいる人も現場で実際に生かせるよう、図版を用いてわかりやすく「簡易カウンセリング」のノウハウを紹介。本書はとりわけ、パブル崩壊後、生産性向上の名の下に失われていた「ビジネスマンの尊敬」を回復することを新しい世紀に向けての企業社会の新たな目標に掲げ、そのためにカウンセリングの理論や技法を適用することをめざしている。

1680円

山本次郎著

『カウンセリングの実技がわかる本 ①上巻』

演習入門編、進め方応用編、フルコース案内編から成る本書は、初心者カウンセラーの多くが求めていた実用書。カウンセラーの三つの基本的条件、ロールプレイ(初回面接の演習)の基礎、ミニ・カウンセリングの基礎知識など、実用的なヒントを満載。

2625円

諸宮裕彦編著／トランスパーソナルな仲間たち著

『宮台真司』をぶっとばせ！——終わらない日常「批判」

「ブルセラ学者」が「まったく革命の旗手」の異名をとる（宮台）を現代日本のニヒリスティックな雰囲気象徴として批判し、さらに個を超えたつながりトランスパーソナルの世界へと案内する。トランスパーソナル心理学、アドラー心理学などの視点から宮台の人生論、援助交際論、性的リベラリズム、学校論、宗教論などを検証し、閉塞状態にある現代社会に風穴を開ける可能性を模索する。

1890円

J・クリシュナムルティ／大野純一編訳

『私は何も信じない——クリシュナムルティ対談集』

クリシュナムルティはその九十年の生涯の間に数多くの人々と対談した。本書はその一部を厳選し、インド人学者ヴェンカタサーナンダや、アメリカの宗教学者でケン・ウイルバーの先輩格にあたるジェイコブ・ニードルマンとのゲル、求道、ヨーガ、教師の役割、心理的依存といったテーマをめぐる討論等々を紹介。

2310円

マイケル・クローネン著／高橋重敏訳

『キッチン日記——J・クリシュナムルティとの10001回のランチ』

今世紀最高の宗教的覚者の知られざる日常生活を克明に描いた興味深い記録。著者のクローネンは、アメリカのクリシュナムルティ・スクールの食堂の料理人として働いたから、十数年にわたりクリシュナムルティと様々な来客たちの対話に傾聴し、それらについての感想を、ベジタリアンのランチの献立などと共に記録した。ユーモアとジョークを交えての政治・社会情勢やキリスト教などに対する痛烈な批判など、希有の覚者の魅力を生きいきと伝える。

2625円

大野純一著編訳

『クリシュナムルティの世界』

クリシュナムルティの「人と思想」の全容をこの一冊に収録。（世界教師）としての彼の数奇な生涯をたどり、その（教え）に様々な角度から迫ることによって、二十一世紀に向けてのメッセージを読み取る。

2730円

ハリー・ベンジャミン／大野純一訳

『グルジェフとクリシユナムルティ——エンテリック心理学入門』

グルジェフの教えのエッセンスを彼の高弟モーリス・ニコルの注釈書に基づいて紹介し、クリシユナムルティの教えとの共通点ないし関連性に言及する。あのデルフォイの神託「*Gradii Semper*」（「汝自身を知れ」）の最も深い意味が明かされ、「ヘコスモス」との深い関わりのなかで試みられるダイナミックな「自己発見の冒険」へと読者を誘う。

2100円

スワミ・ヴィヴェカーナタ／大野純一編訳

『普遍宗教への階梯——スワミ・ヴィヴェカーナタ講演集』

一八九三年にシカゴで開催された世界宗教会議に参加し、ヴェーダーンタ哲学の真髄を説き、普遍宗教の理想を雄弁に語り、ロマン・ロランをはじめとする欧米の知識人に深い感銘を与え、東西の精神的交流に先駆的役割を果たしたスワミ・ヴィヴェカーナタ（一八六三—一九〇二）の講演のなから、これまで未紹介のものを中心に収録。

2205円

岡野守也十羽矢辰夫訳

『摂大乗論』現代語訳

人間はなぜ、怒り、恨み、歎き、悩み、傷つけあうのか。心の奥底への深い洞察の光で、その原因とそれだけでなく克服の道をも鮮やかに照らし出す英知の書。フロイトやユングに先立つこと千数百年、すでにみごとに確立されていた大乘仏教の深層心理学Ⅱ唯識の古典の現代語訳。その現代的な意味を読み解く解題付。

2310円

田辺祥一著

『不死の探究——生の充実の道』

死を超えて生きるには？ この永遠の問いに答えるために本書は書かれた。著者によれば、その答えの一端は「生の充実を実現することにある。そのためには、ただ無抵抗に死に替えたりせず、死への不条理な恐怖に對してある程度はつきりと決着をつけておかなければならない。NHKラジオ「宗教の時間」「こころの時代」、NHKテレビ「こころの時代」などの番組を担当した名ディレクターが、みずから味わった死の恐怖や瞑想体験を踏まえ、さらに古今東西の偉人の言行や智慧の書に言及しつつ自己確立の道を説き、より良く生きるためのヒントを提供する。

1575円

江藤光紀著

「カンティンスキー／コンボジションとしての絵画——宗教的主題の解説」

抽象絵画の創始者の一人として知られるヴァシリー・カンティンスキー。しかし、その抽象化の過程では多くの対象的要素が生まれ、フォルムと色彩の渦の中に消えていった。そこにはどんな意味がこめられていたのか——数多くの研究者がこの謎に取り組んできたが、依然として多くの謎が残されたまま。本書は抽象絵画誕生前後の一九一一年から一二年の宗教的作品群を詳細に検討し、カンティンスキーの隠された図像学を明快に読み解く。図版多数。

2100円

フレデリック・ウィーゲマン／高野雅司訳

「魂のプロセス——自己実現と自己超越を結ぶもの」

人間としての全体性——なぜ、その獲得は困難で、希なのか？ それは、全体性への人口が凄まじいパラドクス（逆説）によって護衛されているためである。全体性的であるためには、自分を成長させる（自己実現）だけでなく、自分よりも大きな現実へと身を委ねる（自己超越）必要がある。本書は、トランスパーソナル心理学の成果を継承しつつ、自己実現と自己超越との間を絶えまなく循環しているプロセスを「魂のプロセス」とみなし、それに全体性のパラドクス解決の糸口を見出す。著者によれば、魂を復活させ、あらゆる生命への愛というその本質を再認識し、現代に生きるわれわれの指針としてそのプロセスを生きたことが、意識的かつ情熱に満ちた人生への最も重要なカギである。

1995円

シュリ・ラムチャンドラ著／佐竹正行訳

「真理の夜明け——サハジ・マルグ（自然の道）入門」

サハジ・マルグ（自然の道）とは、日常生活を営む中で、ラージャ・ヨーガに基づいて霊性の完成を実現することをめざした生き方で、万人に向かって開かれた、自然で、単純で、自発的な道である。著者のシュリ・ラム・チャンドラは古典的なラージャ・ヨーガを単純化し、サハジ・マルグ方式を完成させ、その普及をはかるため、一九四五年にシュリ・ラム・チャンドラ・ミツシオンを設立した。本書は、その設立者自身による、簡にして要を得た入門書で、特に真の（ヘグル）の意義と役割など、宗教に関心のない一般の人々にも多くの貴重な示唆を与える。

1260円

デーヴィッド・N・エルキンス／大野純一訳／諸富祥彦解説

『スピリチュアル・レポリューション』——ポストモダンの八聖道

現在多くのアメリカ人の内面で進行中と言われる「靈性の革命（スピリチュアル・レポリューション）」の実態に迫り、魂を養い、「聖なるもの」に至るための八つの道（女性性・アニマ／芸術・ミューズ／身体・エロス・性・官能性／心理学・カウソセリング・サイコセラピー／神話・物語・儀式・シンボル／自然・天・地／関係性・友情・家族・コミュニティ／魂の闇夜・実存的危機の道）を提示し、実際にそれらの道を辿ることを志す人々をガイドする。

2520円

P・D・ウスベンスキー／高橋弘泰訳／小森健太郎解説

『ターシャム・オルガヌム（第三の思考規範）——世界の謎への鍵』

グルジェフをして「君がこの本に書いてあることをすべて理解していたら、私は君におじぎをして教えを乞うだろう」と言わしめた本書は、ウスベンスキーの代表作である。世界の神秘を解き明かす鍵がここにある。ロシアの知の魔術。アリストテレス、ペーコンを凌駕する驚異の知の体系。二〇世紀神秘哲学最高の古典の完訳。

2625円

ドン・ミゲル・ルイス／松永太郎訳

『四つの約束』

一九九八年に「異界へと旅立った」カルロス・カスタネダの流れをくむルイスは、古代メキシコの「トルテック」の智慧にもとづいて、われわれを覚醒させ、人生をすみやかに変え、真の自由と幸福をもたらすことができる力強い教えを「四つの約束」としてまとめた。人生を暗くし、不必要な苦しみを生む元になっている様々な自縛的信念を明らかにし、われわれを広々とした明るい世界へと誘う。好評発売中！

1260円

ドン・ミゲル・ルイス／高瀬千尋訳／高瀬千図監訳

『愛の選択』

古代メキシコの「トルテック」の智慧を「四つの約束」としてまとめたルイスは、本書ではさらに「真実と許しと愛」によって心の傷を癒し、愛に基づいた関係をもたらすための「関係性のアート」を比類なき明晰さと熱情をこめて説き、「幸福になりたい」という基本的な願いに対する誠実で真摯な、実践可能な完璧な答えを与える。

1470円

「コスモス・ライブラリー」のめざすもの

古代ギリシヤのピュタゴラス学派にとって「コスモス」(kosmos)とは、現代人が思い浮かべるようなたんなる物理的宇宙 (cosmos) ではなく、物質から心および神にまで至る存在の全領域が豊かに織り込まれた「全体」を意味していた。が、物質還元主義の科学とそれが生み出した技術と対応した産業主義の急速な発達とともに、もっぱら五官に隷属するものだけが重視され、人間のかけがえのない一半を形づくる精神界は悲惨なまでに忘却されようとしている。しかし、自然の無限の浄化力と無尽蔵の資源という、ありえない仮定の上に営まれてきた産業主義は、いま社会主義経済も自由主義経済もともに、当然ながら深刻な環境破壊と精神・心の荒廃というつけを負わされ、それを克服する本当の意味で「持続可能な」社会のビジョンを提示できぬまま、立ちすくんでいるかに見える。

環境問題だけをとりても、真の解決には、科学技術的な取組みだけではなく、それを内面から支える新たな環境倫理の確立が急務であり、それには、環境・自然と人間との深い一体感、環境を破壊することは自分自身を破壊することにはかならないことを、観念ではなく実感として把握しうる精神性、真の宗教性、さらに言えば「靈性」が不可欠である。が、そうした深い内面的変容は、これまでごく限られた宗教者、覚者、賢者たちにおいて実現されるにとどまり、また文化や宗教の枠に阻まれて、人類全体の進路を決める大きな潮流をなすには至っていない。

「コスモス・ライブラリー」の創設には、東西・新旧の知恵の書の紹介を通じて、失われた「コスモス」の自覚を回復したい、様々な英知の合流した大きな潮流の形成に寄与したいという切実な願いがこめられている。そのような思いの実現は、いうまでもなく心ある読者の幅広い支援なしにはありえない。来るべき世紀に向け、破壊と暗黒ではなく、英知と洞察と深い慈愛に満ちた世界が実現されることを願って、「コスモス・ライブラリー」は読者と共に歩み続けたい。